



エコタイムズ



残暑続くなか、9月半ばすぎ2024年も100日余りです。1年365日には何かしら記念日があります。今月の24日は「清掃の日」です。この日を起点に「環境衛生週間」も実施されます。ちなみに掃除に関わる記念日は年に4回あるそうです。今回は、そんな清掃に関する3Sのお話をさせていただきます。

3Sとは、整理・整頓・清掃活動のことです。

「整理(Seiri)」とは、不要なものを置かないようにすることです。要るものと要らないものを分類し、不要なものを捨てます。ものを捨てないままだとスペースが圧迫されてしまい、在庫についても余分に用意するとよりスペースを狭めるだけです。

「整頓(Seiton)」とは、必要なものを使いやすい場所に設置することです。使う頻度が多いものと少ないもので適切な位置を配置すると工具や資材を取り出すときの無駄がなくなり、ものが紛失することも防ぐことができます。作業が効率化されることで現場の負担が少なくなる、安全性も向上します。

「清掃(Seisou)」とは、作業する空間をきれいにすることです。衛生面だけでなく、快適に気持ち良く作業できるという、精神面でも良い影響があります。ホコリなどによる機械設備のエラーや故障を防げるのもメリットです。これら3Sに「清潔(Seiketu)」「躰(Siutke)」を加えた活動を5Sと呼ばれます。

ただ、意図も分からず「掃除をするだけ」「ものを置かないきれいに並べるだけ」など、会社や作業環境を綺麗にするために行っているその活動自体が目的となってしまいます。

本来の目的は、

- ・ケガや事故のない「安全な職場」
- ・時間やお金にムダのない「能率的な職場」
- ・心身ともにストレスのない「快適な職場」

職場には多くのムダが潜んでいます。ものを探すムダ、場所のムダ、動作のムダなど色々あります。そして、無駄な時間を生み・無駄な労力を使い・無駄な経費につながります。ものを置いている場所へのコスト意識がないと思いますが、ものが多いほどそれだけを置く場所が必要になり、またそれらを管理するためのコストもかかってきます。

日頃少しでも片づけるだけで時間的、安全面のメリットがあります。ぜひ、身の回り生活の中でも意識をむけてみてください。

